

| 9:00~9:10 | | 開会の挨拶 | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|---|--|--|--|-------------------|--|
| 9:10~9:55 | | 山科郁男先生追悼講演(神山ホール-メインホール) | | | | | | |
| | | 一般講演 | | | | | | |
| セッション | A会場(神山ホール第1会議室) | | B会場(神山ホール第2会議室) | | C会場(図書館ホール) | | D会場(15号館セミナー室) | |
| | 酵素・タンパク質・構造 1 | | がん・疾患 1 | | シグナル伝達・転写制御 1 | | 細胞生物学・バイオテクノロジー 1 | |
| 1 | 10:00~10:13 | <p>がん抑制因子NAP-22のミリスチル化によるタンパク質間相互作用の制御 ○本田 忠誠, 菊池 佑一, 中村 正彦, 松原 守 京都学園大・バイオ環境・分子生物</p> | <p>The roles of estrogen on canine mammary gland tumors: Clinical diagnosis and treatment ○Waraphan Tonitil^{1,2}, Shimizu Akio¹, and Misuzu Seol 1Department of Biotechnology, Division of Engineering, Kyoto Sangyo University, 2Department of Preclinic and Applied Animal Science, Mahidol University, Thailand</p> | <p>初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対するグアヤク脂成分の効果 ○中野 由希^{1,2}, 亀岡 寛史¹, 那須 正彰², 松尾 洋孝², 加納 麻奈¹, 吉開 会美¹, 西澤 幹雄¹, 池谷 幸信² 1立命館大・生命科学・医化, 2立命館大・薬・生薬</p> | <p>Low cytoplasmic pH reduces ER-Golgi trafficking and induces disassembly of the Golgi apparatus ○Jeerawat Soonthornsit¹, Nobuhiro Nakamura¹ 1FacI Life Sci, Kyoto Sangyo University</p> | | | |
| 2 | 10:13~10:26 | <p>カルモジュリン由来ペプチドヘリックスループヘリックスペプチド(HLH3, HLH4)の相互作用様式の解明 ○奥 彰彦, 武内 敏秀, 能代 大輔, 今西 未来, 二木 史朗 京都大学化学研究所</p> | <p>Increased expression of the ladybird homeobox 1 cause scoliosis in zebrafish mimicking human adolescent idiopathic scoliosis and congenital scoliosis ○郭 龍¹, 山下 寛¹, 黄 郁代³, 滝本 晶¹, 安達 泰治⁴, 開 祐司¹, 池川 志郎³, 宿南 知佐^{1, 2} 1京都大・再生医科学研究所・生体分子設計学, 2広島大・院医歯薬保・生体分子機能学, 3理化研・統合生命医科学研究センター・骨関節疾患研究チーム, 4京都大・再生医科学研究所・ナノ再生医工学研究センター・バイオメカニクス研究領域</p> | <p>植物病原菌Burkholderia plantariiにおけるファイトキシントロポロン生産制御ネットワーク 吉岡 誠訓¹, ○三輪 瞬平¹, 紀平 絵梨¹, 仲 皆根 薫², 五十嵐 雅之³, 波多野 和樹³, 吉川 博文^{4,5}, 兼崎 友⁵, 江口 陽子¹, 内海 龍太郎¹ 1近大院農バイオ, 2近大工, 3微化研, 4東京農大応生バイオ, 5東京農大ゲノム解析セ</p> | <p>YidCによるタンパク質膜組込機構 ○千葉 志信¹, 熊崎 薫², 塚崎 智也³, 濡木 理², 伊藤 維昭¹ 1京産大・総合生命, 2東大・院理・生物, 3奈良先端・院バイオ</p> | | | |
| 3 | 10:26~10:39 | <p>金属還元細菌 Geobacter sulfurreducens のマルチヘムセレンタンパク質および関連タンパク質群の解析 ○寫本 奈々¹, 谷 泰史^{1,2}, 杉山 慧¹, 齋藤 茂樹^{1,2}, 田島 寛隆^{1,2}, 三原 久明¹ 1立命館大・生命科学・生物工, 2立命館大・R-GIRO</p> | <p>がん幹細胞のヒアルロン酸依存的増幅における上皮-間葉移行シグナルの解析 ○望月 信利¹, チャンミー シーラウット², オントン パーワレッド³, 板野直樹^{1,2,3} 1京産大・総合生命, 2京産大・先端研, 3京産大院・工</p> | <p>アオジソに含まれる一酸化窒素産生を抑制する成分に関する研究 ○難波 真由里^{1,2}, 長谷川 千紘², 松尾洋孝², 吉開 会美¹, 西澤 幹雄¹, 池谷 幸信² 1立命館大・生命科学・医化, 2立命館大・薬・生薬</p> | <p>酸性 pH における Streptococcus mutans F型H⁺-ATPaseのH⁺輸送 ○佐々木 由香¹, 吉岡 拓哉¹, 前田 正知², 岩本 (木原) 昌子¹ 1長浜バイオ大・バイオサイエンス, 2岩手医科大・薬</p> | | | |

| | | | | | |
|---|-------------|---|---|---|--|
| 4 | 10:39~10:52 | 魚類TRPA1の機能解析 ○織田 麻衣1, 黒木 麻湖1, 久保 義弘2, 齊藤 修1 1長浜バイオ大・院・動物分子生物学, 2生理研・神経機能素子 | VEGF-Aはその受容体NRP1の細胞内領域とGIPC1,Syxとの複合体形成を促進しRhoAの活性化を介してがん細胞の増殖と浸潤を誘導する ○吉田 亜佑美1, 清水 昭男2,3, 門之園 哲哉4, 近藤 科江4, Michael Klagsbrun2, 瀬尾 美鈴1,3 1京産大・院工・生物工学, 2Vascular Biology Program, Children's Hospital Boston, Harvard Medical School, 3京産大・総合生命・生命システム, 4東工大・生命理工学 | Study of a cellular signaling network stimulated with leucine transported by a cancer-type amino acid transporter LAT1. ○Pornpan Kongprach1, Pattama Wiriyasermkul1, Noriyoshi Isozumi1, Printip Wongthai1, Suguru Okuda1, Kenjiro Tadagaki1, Ryuichi Ohgaki1, Shushi Nagamori1, Yoshikatsu Kanai1 1 Biosystem Pharmacology, Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Osaka University | 各種乳酸菌の糖脂質の構造的特徴と抗原性 ○南 領将, 谷河 みなみ, 栢田 尚也, 伊藤 伶芳, 田中 京子, 青木 大輔, 岩森 正男 近畿大・理工・生命・慶應大・医・産婦 |
| 5 | 10:52~11:05 | 卵白アルブミン分泌シグナルペプチドによるコラーゲンの物性制御 ○成田 侑祐里1, 半田 明弘2, 田中 直毅1 1京工繊大院, 2キューピー(株)技術研 | Anosmin-1が血管内皮細胞に及ぼす生理作用とその受容体の解明 ○近藤 真菜美1, 清水 昭男2, 浅野 弘嗣2, 瀬尾 美鈴1,2 1京産大大学院・生命科学, 2京産大・総合生命・生命システム | 甘草の成分による一酸化窒素産生誘導の抑制 ○種本龍 之亮1,2, 吉開 会美1, 松尾 洋孝2, 池谷 幸信2, 西澤 幹雄1 1立命館大・生命科学・医化, 2立命館大・薬・生薬 | 抗体結合型核酸ドラッグの開発と機能評価 山吉 麻子1, ○岸本 祐典1, 田村 理恵2, 村松 千愛2, 小堀 哲生1, 芦原 英司2, 村上 章1 1京工繊大院工芸科学・2京薬大生命薬科学 |
| 6 | 11:05~11:18 | ゴルジマトリックスタンパク質GM130の構造解析 ○石田 竜一1, 中村 暢宏1 1京産大・総合生命・生命システム | もやもや病関連タンパク質mysterinによるzebrafishの発生制御 小谷 友理1, 森戸 大介1, 山崎 悟2, 山田 健太3, 高島 成二4, 平田 普三3, 永田 和宏1 1京都産業大・総合生命, 2国立循環器病センター, 3国立遺伝研, 4大阪大・院生命機能 | 初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する防風およびその成分の効果 ○下倉 敏裕1, 神野 拓也1,2, 吉開 会美1, 池谷幸信2, 西澤 幹雄1 1立命館大・生命科学・医化, 2立命館大・薬・生薬 | 5'末端塩基非依存的TALEタンパク質の創製 ○辻 将吾, 今西 未来, 二木 史朗 京大・化研 |
| 7 | 11:18~11:31 | 大腸菌コネクターSafAによるセンサーPhoQの構造変化 ○吉谷 亘平, 江口 陽子, 石井 英治, 内海 龍太郎 近畿大院・農・バイオ | RAGE, receptor of advanced glycation endproducts, negatively regulates chondrocytes differentiation. ○高倉 祐希, 岩井 敬祐, 西村 春香, 中澤 世莉子, 田邊 甫樹, 藤田 隆司 1立命館大・薬・分子薬効毒性学 | 脂肪肝形成に対する経口性IVA型ホスホリパーゼA2阻害剤の抑制効果 ○金井 志帆, 倉井 悠貴, 古庄 由佳, 西川 瑞稀, 石原 慶一, 秋葉 聡 京都薬大 | HEXIM1 タンパク質に対して特異的結合能を示すRNAモチーフの探索と新規転写阻害剤としての応用 山吉 麻子, ○吉本 航大, 岸本 恭介, 小堀 哲生, 村上 章 京工繊大院工芸科学 |

| | | | | | | |
|-------------|-----------------|--|--|--|--|-------------------|
| 8 | 11:31~11:44 | <p>モヤモヤ病タンパク質ミスレリンの構造と機能 ○森戸 大介1, 西川 幸希2, 山崎 悟3, 寶関 淳4, 北村 朗5, 小谷 友理1, 金城 政孝5, 高島 成二6, 藤吉 好則2, 永田 和宏 2 1京産大・総合生命, 2名大・CeSPI, 3国立循環器病セ, 4京大・院農, 5北大・院先端生命, 6阪大・院医</p> | <p>細胞凝集塊を誘導するコラーゲンの骨再生促進能の評価 ○國井 沙織1, 山本 衛 2, 伊藤 浩行2, 平岡 陽介3, 森本 康一1 1近畿大・生物理工・遺伝子工, 2近畿大・生物理工・医用工, 2新田ゼラチン(株)</p> | <p>B細胞抗原受容体シグナル伝達におけるスフィンゴ糖脂質CD77の機能解析 ○湯浅 大史1,2, 濱野 久美子1,2, 関 亮祐1, 岡昌吾1, 竹松 弘1 1京大・院医, 2京大・院生命</p> | <p>RISC 機能の制御を目指したペプチドコンジュゲート核酸の開発 山吉 麻子, ○柴森 奈緒, 有吉 純平, 小堀 哲生, 村上 章 京工繊大院工芸科学</p> | |
| | | <p>細菌蛋白質における翻訳後修飾部位の立体構造的解析 ○増井 良治1, Kwang Kim1, 高畑 良雄1, 岡西 広樹1, 井上 真男1, 飯尾 洋太1, 中川 紀子1, 由良 敬2,3,4, 倉光 成紀1 1阪大・院理, 2お茶の水女子大・人間文化創成科学, 3お茶の水女子大・生命情報学教育研究センター, 4国立遺伝学研究所</p> | <p>SMN is essential for the HDAC6 mediated tubulin-deacetylation in fibroblasts ○Dian Kesumapramudya Nurputra1, Hiroyuki Morita2, Hisahide Nishio1, Yumi Tohyama2 1神大・院医・疫学, 2姫路獨協・薬・生化</p> | <p>コンドロイチン硫酸受容体を介した神経細胞の極性形成過程の制御機構の解析 ○志田 美春1, 友廣 彩夏1, 三上 雅久1, 田村 純一2, 北川 裕之1 1神戸薬大・生化, 2鳥取大・地域</p> | <p>抗原を担持させたペプチドナノファイバーの細胞取り込みにおけるサイズ効果 ○和久 友則, 川端 一史, 功刀 滋, 田中 直毅 京工繊大院・工芸科学</p> | |
| 12:00~13:10 | | 昼休憩、評議員会（14号館14113会議室:12:10-13:00） | | | | |
| セッション | A会場(神山ホール第1会議室) | | B会場(神山ホール第2会議室) | | C会場(図書館ホール) | D会場(15号館セミナー室) |
| | 酵素・タンパク質・構造 2 | | がん・疾患 2 | | シグナル伝達・転写制御 2 | 細胞生物学・バイオテクノロジー 2 |
| 10 | 13:10~13:23 | <p>ウェルシュ菌毒素 Ia による actin の ADPリボシル化機構 ○鶴村 俊治, 津守 耶良, 秋 浩, 津下 英明 京産・総合生命</p> | <p>MUC1によるuPAの発現誘導及び悪性化機構 ○森 勇伍1, 秋田 薫1, 八代 正和2, 澤田 鉄二2, 平山 弘2, 中田 博1 1京産大・総合生命・生命システム, 2大阪市大・院医・腫瘍外科</p> | <p>ゼブラフィッシュ Chm1 遺伝子の軟骨特異的な発現を制御するシスエレメントの同定 ○山下 寛1, 宿南 知佐1, 2, 開 祐司1 1京都大・再生医科学研究所・生体分子設計学, 2広島大・院医歯薬保・生体分子機能学</p> | <p>Enzymatic properties and subcellular localization of 1-acyl-sn-glycerol-3-phosphate acyltransferase responsible for synthesis of EPA-containing phospholipids in Shewanella livingstonensis Ac10. ○CHO Hyun-Nam, KAWAMOTO Jun, KURIHARA Tatsuo Institute for Chemical Research, Kyoto University</p> | |

| | | | | | |
|----|-------------|--|---|---|---|
| 11 | 13:23~13:36 | Dye-decolorizing peroxidaseの触媒サイクルと基質結合部位 ○吉田 徹1, 津下 英明1, 久堀 徹2, 菅野 靖史3 1京産大・総合生命, 2東工大・資源研, 3日本女子大・理学 | 膜結合型ムチンMUC1とシアル酸結合レクチン Siglec-9 の結合は MUC1 とβ-cateninの相互作用および細胞増殖を促進する 谷田 周平1, ○秋田 薫1, 石田 有希子1, 森 勇伍1, 戸田 宗豊1, 井上 瑞江1, 太田 麻利子1, 八代 正和2, 澤田 鉄二2, 平川 弘2, 中田 博1 1京産大・総合生命・生命システム, 2大阪市大・院医・腫瘍外科 | 糖尿病性神経因性疼痛における脊髄後角の一酸化窒素産生と治療薬の効果 ○大野 華奈1, 安永 俊之2, 芦高 恵美子1,3 1大阪工大・院工・生体医工, 2大阪工大・工・生体医工, 3大阪工大・工・生命工学 | 好中球様に分化したヒト白血病細胞株 HL60におけるピメンチンの機能の検討 ○山口 博文1, 森田 寛之1, 綾部 圭一郎1, 岡本 秀一郎2, 通山 由美1 1姫路獨協大・薬・生化, 2川崎医大・検査診断 |
| 12 | 13:36~13:49 | リポフラビンを光増感剤とする反応溶液中に生成される種々の脂質由来ラジカルの検出及び同定 ○西濱 菜緒, 岩橋 秀夫 和医大・院医・生体分子解析学 | ナルディライジンは膵β細胞においてインスリン分泌を制御する ○西 清人1, 佐藤 雄一2, 大野 美紀子1, 平岡 義範1, 西城 さやか1, 稲垣 暢也2, 西 英一郎1 1京大・院医・循内, 2京大・院医・糖尿病内分泌栄養内 | ノシセプチンによるアロディニア発症に関与するシグナル伝達機構の解明 ○川端 健太1, 西村 勇武2, 寺内 祥子3, 南 敏明4, 伊藤 誠二5, 芦高 恵美子1,2,3 1大阪工大・院工・生体医工, 2大阪工大・工・生体医工, 3大阪工大・工・生命工学 4大阪医大・麻酔, 5関西医大・医化学 | 膵β細胞の還元剤によるERストレスとインスリン生成に対する影響 ○田畑 翔太郎1, 池崎 みどり1, 井内 陽子1, 松井 仁淑1, 井原 義人1 1和歌山県医大・医・生化 |
| 13 | 13:49~14:02 | サーモライシンの安定性における315位のアミノ酸残基の役割 ○兒島 憲二, 中田 博己, 井上 國世 京大院・農・食生科 | ナルディライジンはPGC-1αを制御することで体温恒常性維持機構と適応熱産生を調節する 西城 さやか1, 平岡 義範1, 松岡 龍彦1, 大野 美紀子1, 西 清人1, 西 英一郎1 1京大・院医・循内 | 出生前後のマウス網膜を用いた遺伝子発現解析のための相対定量PCR法の確立 ○足立 博子1, 富永 洋之1, 丸山 悠子2, 米田 一仁2, 丸山 和一3, 中野 正和1, 木下 茂2, 田代 啓1 1京府医大・院医・ゲノム医科学, 2視覚機能再生外科学, 3東北大・院医・眼科学 | ヒト因子由来再構成型タンパク質合成システムの開発と応用 ○町田 幸大, 今高 寛晃 兵庫県立大・院工 |
| 14 | 14:02~14:15 | 抗体を用いた膜タンパク質の結晶化 ○名倉 淑子1, 小笠原 諭2, 田辺 幹雄3, 野村 紀通1, 岩田 想1 1京都大・院医, 2東北大・院医, 3マルチエン=ルター大・HALOmem | 腎尿濃縮調節におけるMoesinの役割の解明 ○川口 高德1, 波多野 亮1, 田村 淳2, 月田 早智子2, 浅野 真司1 1立命館大・薬, 2阪大・院生命機能 | Homogeneous Fluorescence Assayによる選択的スプライシングの解析 村上 章, ○中嶋 康介, 川合 雅幸, 古山 紘太, 山吉 麻子, 小堀 哲生 京工織大学院工芸科学 | Transport mechanisms of 4-borono-phenylalanine as a 10B carrier of boron neutron capture therapy for cancers ○Printip Wongthai1, Kohei Hagiwara1, Yurika Miyoshi2, Pattama Wiriyasermkul1, Pornparn Kongpracha1, Isozumi Noriyoshi1, Ryuichi Ohgaki1, Kenjiro Tadagaki1, Kenji Hamase2, Shushi Nagamori1, Yoshikatsu Kanai1 1Division of Bio-system Pharmacology, Department of Pharmacology, Graduate School of Medicine, Osaka University, 2Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University |

| | | | | | |
|----|-------------|---|--|--|---|
| 15 | 14:15~14:28 | <p>アンジオテンシンタイプ2受容体とその特異的抗体を用いた共結晶化 ○浅田 秀基¹, 白石 充典², 岩成 宏子³, 植村 智子¹, 辻本 浩一¹, 新井 修³, 島村 達郎¹, 稲上 正⁴, 浜窪 隆雄³, 小林 拓也¹, 岩田 想¹ ¹京都大学大学院 医学研究科 分子細胞情報学,²九州大学大学院 薬学研究院 蛋白質創薬学分野,³東京大学 先端科学技術研究センター 計量生物医学,⁴米国バンダービルト大学医学部生化学教室</p> | <p>Hsp47欠損は肝星細胞で小胞体ストレス依存的なアポトーシスを引き起こす ○川崎 邦人^{1,2}, 潮田 亮¹, 伊藤 進也^{1,2}, 池田 一雄³, 真砂 有作^{1,2}, 永田 和宏¹ ¹京産大・総生・生シ,²京大・院理・生物,³阪市大・医・解剖</p> | <p>Splicing transitions of the anchoring protein ENH during striated muscle development ○Jumpei Ito¹, Shun'ichi Kuroda¹, Koichi Takimoto², Andrés D. Maturana¹ ¹ Grad. Sch. Bioagri. Sci., Nagoya Univ.² Dep. Bioeng., Nagaoka Univ. of Tech.</p> | <p>光分解性保護基を導入した架橋性核酸の細胞内活性評価 小堀 哲生・○中田 有紀・杉原 悠太・山吉 麻子・村上 章 京工繊大院工芸科学</p> |
| 16 | 14:28~14:41 | <p>トレオニン合成酵素の触媒反応前半部分の反応機構解析 ○町田 康博¹, 村川 武志², 庄司 光男³, 林 秀行¹ ¹大阪医大・医・化,²大阪医大・医・生化,³筑波大・数物系</p> | <p>O-linked N-Acetyl Glucosamine (O-GlcNAc)は睡眠時無呼吸症候群で観察される間欠的低酸素下でオートファジーを亢進し、且つ、酸化ストレスを抑制する。 ○中川 孝俊¹, 佐々木 泉帆², 渡辺 明², 古川 裕一², 野村 篤生², 上橋 和佳², 加藤 隆児², 井尻 好雄², 林 哲也², 朝日 通雄¹ ¹大医大・医・薬理学,²大薬大・循環病態治療学</p> | <p>M視物質遺伝子のL型エキソン2はM視物質の発現量を減少させる ○上山 久雄¹, 村木 早苗², 田邊 詔子³, 山出 新一², 扇田 久和¹ ¹滋賀医大・生化学・分子生物学,²滋賀医大・眼科,³視覚研究所</p> | |
| | 14:41~15:30 | ポスター発表（神山ホール-ロビー） | | | |
| | 15:30~17:30 | シンポジウム（神山ホール-メインホール） | | | |
| | 17:30~18:30 | 特別講演（神山ホール-メインホール） | | | |
| | 18:30~20:00 | 懇親会（神山ホール4階-ラウンジふるさと） | | | |